

齒科医学総論

歯科医学総論 [約 30%]

(I) 保健医療論 [約 15%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 健康・疾病・障害の概念	A 健康の概念		
	B 健康に関わる要因		
	C 社会環境の変化		
	D 疾病の自然史と対応		
	E 障害の概念と対応		
2 保健・医療・福祉・介護関係法規	A 医事衛生法規		
	B 保健衛生法規		
	C 医療保障・社会福祉・介護関連法規		
	D 予防衛生法規		
	E 薬事衛生法規		
3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源	A 衛生行政の組織		
	B 医療機関		
	C 福祉施設		
	D 介護施設		
	E 医療関係職種		
	F 福祉・介護職種		
	G 医療連携		
	H 保健・医療・福祉・介護の連携		
4 地域保健、地域医療	A 公衆衛生活動・地域保健活動		医療政策を含む
	B ヘルスプロモーション		
	C 地域保健活動の進め方		
	D 都道府県、市町村、保健所の歯科保健業務		
	E プライマリケア		
	F かかりつけ歯科医機能		
	G 救急・災害時等の歯科保健医療対策		
	H 在宅医療・在宅歯科医療		
5 社会保障と医療経済	A 社会保障制度		
	B 医療保険		
	C 医療経済と国民医療費		
6 国際保健	A 世界の保健・医療の問題と方向性		
	B 国際保健・医療協力		

(Ⅱ) 健康管理・増進と予防〔約8%〕

大項目	中項目	小項目	備考
1 健康の保持・増進と予防	A 健康教育・学習、保健指導、健康相談		
	B 健康づくり〈栄養、運動、休養〉		
	C 保健指導		
	D 禁煙指導・支援		
	E 健康診断、スクリーニング検査		
	F 口腔の環境・機能		
	G 口腔の診査		
	H 口腔保健管理		
2 母子保健、母子歯科保健	A 現状、動向		
	B 母性保健		
	C 小児保健		
	D 児童虐待		
	E 母子歯科保健の意義		
	F 妊産婦の歯科保健		
	G 乳幼児の歯科保健		
	H 乳幼児歯科健康診査		
	I 母子歯科保健教育		
3 学校保健、学校歯科保健	A 現状、動向		
	B 学校保健の領域・内容		
	C 学校保健関係者		
	D 学校歯科保健教育		
	E 学校歯科保健管理		
	F 組織活動		
4 産業保健、産業歯科保健	A 現状、動向		
	B 労働安全衛生管理		
	C 業務上疾病、作業関連疾患		
	D 健康診断、事後措置		
	E 産業歯科保健の意義		
	F 産業歯科保健活動		
	G 職業性歯科疾患		
5 成人保健、成人歯科保健	A 現状、動向		
	B メタボリックシンドローム		
	C 成人歯科保健		
	D 成人の口腔保健管理		
6 高齢者保健、高齢者歯科保健	A 現状、動向		
	B QOL〈quality of life〉、日常生活動作〈ADL〉		

大項目	中項目	小項目	備考
	C 高齢者の特性		
	D 高齢者歯科保健		
	E 高齢者の口腔保健管理		
	F 地域支援事業		
	G 要介護高齢者の歯科保健・医療		
7 精神保健福祉	A 現状、動向		
	B 精神的健康の保持・増進		
	C 精神的健康の破綻と対応		
	D 精神的健康と社会整備		
	E 精神障害と歯科保健		
8 障害者保健福祉	A 現状、動向		
	B 障害者と社会		
	C 障害者の保健と医療・福祉		
	D 障害者の歯科保健と医療・福祉		
9 人口統計と保健統計	A 人口統計		
	B 保健統計		
10 疫学とその応用	A 疫学の概念		
	B 疫学的要因		
	C 疫学・統計指標		
	D 因果関係の成立		
	E 観察研究		
	F 介入研究		
	G 歯科集団検診		
	H 歯科領域における統計指標		
	I 歯科領域における疫学調査		
	J 齲蝕の疫学要因		
	K 歯周病の疫学要因		
	L 不正咬合の疫学要因		
11 感染症対策	A 感染症の疫学		
	B 感染症対策		
	C 院内感染対策		
12 国民栄養と食品保健	A 国民栄養の現状		
	B 食事摂取基準		
	C 食生活指針		
	D 食育基本法		
	E 食の安全と対策		
	F 食の機能と口腔保健		

大項目	中項目	小項目	備考
13 環境保健	A 環境と適応		
	B 地球環境の変化・健康影響		
	C 環境汚染の発生要因・健康影響		
	D 公害の健康影響と対策		
	E 環境汚染の評価と対策		
	F 廃棄物処理		
	G 大気・水と健康		
	H 放射線と健康		
	I 騒音・振動と健康		
	J 住居と健康		

(Ⅲ) 人体の正常構造と機能 [約 5%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 細胞、組織	A 生体を構成する基本物質		
	B 細胞の構造・機能		
	C 細胞間情報伝達機構		
	D 遺伝子、遺伝		
	E 血清カルシウム調節機構		
	F 上皮組織		
	G 支持組織		
	H 筋組織		
	I 神経組織		
2 器官系	A 筋・骨格系		
	B 消化器系		
	C 呼吸器系		
	D 循環器系		
	E 泌尿器・生殖器系		
	F 中枢・末梢神経系		
	G 感覚器系		
	H 内分泌系		
	I 血液・造血器系		
3 免疫	A 免疫担当細胞		
	B 免疫応答とその調節		
	C 体液性免疫		
	D 細胞性免疫		
	E 免疫寛容		

(IV) 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 [約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 頭頸部の構造	A 頭頸部の骨		
	B 頭頸部の筋		
	C 頭頸部の脈管		
	D 頭頸部の神経		
	F 咽頭		
	F 喉頭		
2 口腔・顎・顔面の構造	A 口腔前庭		
	B 固有口腔		
	C 口蓋		
	D 舌		
	E 口底		
	F 唾液腺		
	G 頬		
	H 口唇		
	I 口峽		
	J 歯列		
	K 顔面		
	L 顎関節		
	3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能	A 下顎位、下顎運動	
B 咬合接触、咬合様式			
C 顎関節の機能			
D 吸啜			
E 咬合			
F 咀嚼			
G 嚥下			
H 嘔吐			
I 嗅覚			
J 発音・構音			
K 口腔の反射			
L 味覚			
M 顔面の感覚			
N 粘膜の感覚			
O 唾液分泌			
P 呼吸			
4 歯・歯周組織の構造と機能	A 歯の形態		
	B 歯式		
	C エナメル質		
	D 象牙質		

大項目	中項目	小項目	備考
	E 歯髄		
	F 歯肉		
	G セメント質		
	H 歯根膜〈歯周靱帯〉		
	I 歯槽骨		
	J 歯・歯列の機能		
5 口腔の生態系	A 唾液		
	B 常在微生物叢		
	C プラーク〈バイオフィルム〉		

(V) 発生、成長、発達、加齢 [約 3%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 人体の発生・成長・発達・加齢	A 生殖、発生		
	B 胎芽期		
	C 胎児期		
	D 新生児期、乳児期		
	E 幼児期、学童期		
	F 思春期		
	G 成長・発達の評価		
	H 加齢、老化		
	I 細胞・組織の加齢現象		
2 機能の発達	A 運動・感覚機能		
	B 認知機能		
	C 言語機能		
	D 情緒・社会性		
3 歯・口腔・顎・顔面の発生	A 顔面		
	B 顎、口蓋		
	C 舌		
	D 唾液腺		
	E 顎関節		
	F 歯の形成・萌出		
	G 歯周組織の形成		
	H 軟骨内骨化、膜内骨化		
	I 骨の形成・吸収・改造		
	J 石灰化の機構		
4 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の成長発育	A 脳頭蓋の成長発育		
	B 顔面頭蓋の成長発育		
	C 歯列・咬合の成長発育		
5 口腔・顎の機能の発達	A 咀嚼		
	B 嚥下		
	C 唾液腺		
	D 味覚		
6 加齢・老化による歯・口腔・顎・顔面の変化	A 形態的变化		
	B 機能的変化		

(VI) 病因、病態 [約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 病因論	A 染色体・遺伝子・発生の異常		
	B 環境と疾患		
2 細胞・組織の傷害	A 代謝障害〈変性〉		
	B 萎縮		
	C 細胞死		
3 修復と再生	A 細胞の増殖・分化		
	B 肥大、過形成〈増生〉		
	C 化生		
	D 再生		
	E 創傷治癒		
	F 異物処理		
4 循環障害	A 全身の循環障害		
	B 局所の血液分布異常		
	C 閉塞性の循環障害		
5 炎症	A 炎症の概念		
	B 炎症の原因		
	C 炎症に関与する細胞		
	D 炎症の機序・病態		
	E 急性炎症、慢性炎症		
	F 肉芽腫性炎の種類・特徴		
6 感染症、アレルギー、免疫疾患	A 感染の概念		
	B 病原微生物		
	C 宿主側の因子		
	D 感染症		
	E 免疫不全		
	F 自己免疫疾患		
	G アレルギー反応〈過敏症〉		
	H 移植免疫		
7 腫瘍	A 腫瘍の概念		
	B 腫瘍発生の病因		
	C 腫瘍の疫学		
	D 腫瘍の発育様式		
	E 腫瘍の組織学的構造		
	F 構造異型、細胞異型		
	G 良性腫瘍、悪性腫瘍		
	H 前癌状態、前癌病変		
	I 腫瘍と宿主の関係		

大項目	中項目	小項目	備考
8 疼痛	A 侵害性疼痛		
	B 炎症性疼痛		
	C 神経因性疼痛		
	D 疼痛の心理学的特性		
	E 口腔・顔面領域の疼痛		
9 中毒、放射線障害	A 中毒の発生要因・病態生理		
	B 放射線の身体的影響		
	C 放射線の遺伝的影響		
	D 放射線の確率的・確定的影響		
10 医原病	A 診断に伴う医原病		
	B 治療に伴う医原病		
11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態	A 口腔・頭蓋・顎・顔面領域の先天異常		
	B 歯・歯周組織の疾患		
	C 口腔粘膜の疾患		
	D 唾液腺の非腫瘍性疾患		
	E 顎・顎関節の非腫瘍性疾患		
	F 口腔・顎・顔面領域の嚢胞		
	G 口腔・顎・顔面領域の腫瘍		
	H 損傷		
	I 口腔・顎・顔面領域に症状を伴う全身疾患		
	J 口腔疾患の治療に伴う治癒の病理		
12 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化	A 口腔の形態・機能の変化		
	B 顎骨の形態変化		
	C 顔貌の変化		
13 個体の死	A 死の概念・定義		
	B 生物学的な個体の死		

(Ⅶ) 主要症候 [約 3%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 全身的症候	A 一般的症候		
	B 皮膚、外表		
	C 呼吸器、心臓、血管		
	D 消化器		
	E 血液、造血器、免疫		
	F 腎、泌尿器、生殖器		
	G 心理、精神機能		
	H 神経、感覚器、運動器		
	I 内分泌、代謝、栄養		
2 歯・口腔・顎・顔面の症候	A 歯、歯髄		
	B 歯周組織		
	C 歯列、咬合		
	D 口腔粘膜		
	E 顎骨		
	F 顎関節		
	G 顔面		
	H 舌、軟組織、唾液腺、リンパ節		
	I 口腔機能障害	a 開口・閉口障害、咀嚼障害、摂食・嚥下障害、発音障害、味覚障害、口腔乾燥、口臭	

(Ⅷ) 診察 [約6%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 診察総論	A 医療面接		
	B 診察の基本		
	C 全身の診察		
	D 救急時の診察		
	E 根拠に基づいた医療 (EBM)		
	F 評価の基本		
2 小児への対応	A 身体的特徴		
	B 心理・社会的特徴		
	C 診察		
	D 評価		
	E 留意すべき疾患		
3 障害者への対応	A 障害の概念		
	B 障害の分類		
	C 診察		
	D 評価		
	E 介助、介護、患者管理		
4 妊婦・授乳婦への対応	A 身体的特徴		
	B 心理・社会的特徴		
	C 診察		
	D 評価		
	E 留意すべき事項		
5 高齢者への対応	A 身体的特徴		
	B 心理・社会的特徴		
	C 医療情報の収集		
	D 診察		
	E 評価		
	F 要介護高齢者の歯科治療		
	G 在宅歯科医療		
	H 摂食・嚥下機能とその障害		
	I 多職種連携		
6 全身疾患を有する者への対応	A 留意すべき疾患		
	B 身体的特徴		
	C 心理・社会的特徴		
	D 医療情報の収集		
	E 診察		
	F 評価		
	G 連携体制		

(IX) 検査 [約 16%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 口腔内検査・口腔機能検査	A 歯の検査		
	B 歯髄検査		
	C 歯周組織検査		
	D 舌・口腔粘膜検査		
	E 歯列・咬合検査		
	F 唾液・唾液腺検査		
	G 口腔清掃状態検査		
	H 下顎位検査		
	I 下顎運動検査		
	J 筋機能検査		
	K 舌運動検査		
	L 嚥下機能検査		
	M 構音機能検査		
	N 鼻咽腔閉鎖機能検査		
	O 味覚検査		
	P 口臭検査		
2 画像検査	A 電離放射線		
	B 放射線の単位・測定		
	C 放射性同位元素		
	D エックス線撮影装置・器材		
	E エックス線画像の形成		
	F デジタル画像システム		
	G 放射線の防護・管理		
	H 検査における医療情報		検査情報検索システム、診療支援システム
	I 口内法エックス線検査		
	J パノラマエックス線検査		
	K 顎顔面頭蓋部エックス線検査		
	L CT		
	M 歯科用コーンビームCT		
	N MRI		
	O シンチグラフィ		
	P 超音波検査		
Q 造影検査			
R 内視鏡検査			

大項目	中項目	小項目	備考
3 検体検査	A 検体の採取・保存		
	B 一般臨床検査		
	C 血液学検査		
	D 生化学検査		
	E 免疫学検査		
	F 微生物学検査		
	G 病理組織学検査、細胞診		
	H 染色体・遺伝子検査		
4 生体機能検査	A 呼吸機能検査		
	B 心機能検査		
	C 消化管機能検査		
	D 肝・胆道機能検査		
	E 膵機能検査		
	F 内分泌・代謝機能検査		
	G 基礎代謝検査		
	H 腎機能検査		
	I 脳波検査		
	J 筋電図・神経伝導検査		
5 その他の検査	A 皮膚検査		
	B 感覚器検査		
	C 心理学的検査、知能検査		

(X) 治療 [約 13%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 治療計画	A 治療計画の立案		
	B 治療計画を左右する因子		
	C 治療計画の提示		
	D 治療の評価		
2 治療の基礎	A 主訴の改善		
	B キュアとケア		
	C 原因療法		
	D 対症療法		
	E 保存・外科療法		
	F 緩和療法		
	G 再生療法		
	H 再建療法		
	I 小児の治療		
	J 障害者の治療		
	K 成人の治療		
	L 高齢者の治療		
3 救急医療	A 乳児に対する一次救命処置		
	B 小児に対する一次救命処置		
	C 成人に対する一次救命処置		
	D 高度な気道管理		
	E 成人・小児に対する二次救命処置		
	F 窒息・誤嚥に対する対応		
4 患者管理	A 口腔環境の評価		
	B 全身状態の評価		
	C 全身的偶発症		
	D 術前管理		
	E 術中管理		
	F 術後管理		
5 手術基本手技	A 消毒法		
	B 切開法		
	C 止血法		
	D 縫合法		
	E 穿刺切開、ドレナージ		
	F 抜歯		
	G 口腔の小手術		
	H 移植・再植		
	I 創傷の治療		

大項目	中項目	小項目	備考
6 麻酔、緩和医療	A 局所麻酔法		
	B 局所麻酔薬、血管収縮薬の併用		
	C 全身麻酔法		日帰り全身麻酔
	D 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬		
	E 麻酔前投薬、麻酔併用薬		
	F 麻酔の合併症・偶発症と事故		
	G 精神鎮静法の概念		
	H 吸入鎮静法、静脈内鎮静法		
	I 疼痛とQOL〈quality of life〉		
	J 癌性疼痛治療法（WHO方式）		ペインコントロール
	K 鎮痛補助薬		
7 リハビリテーション	A リハビリテーションの概念		
	B 口腔機能の回復		咀嚼障害、摂食・嚥下障害、構音障害
	C 栄養管理		
	D 多職種連携		
8 放射線治療	A 放射線治療の生物学的・物理学的基礎		
	B 口腔領域の放射線治療		
	C 照射の有害反応		
	D 放射線治療患者の口腔管理		
9 薬物療法	A 薬物療法の種類		予防療法、補充療法、緩和療法
	B 適用方法と剤型		
	C 薬物動態		
	D 薬効に影響を及ぼす因子		日内リズム〈時間薬理学〉
	E 薬物相互作用		
	F 薬物の作用部位・作用機序		
	G 用量と反応		
	H 薬物の連用		
	I 薬物の副作用・有害作用		

大項目	中項目	小項目	備考
	J 薬物適用の注意		服薬計画、服薬指導、コンプライアンス、アドヒアランス
	K 解熱鎮痛薬		麻薬性・非麻薬性鎮痛薬
	L 抗炎症薬		抗アレルギー薬
	M 抗感染症薬		抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬、消毒薬
	N 抗悪性腫瘍薬		
	O 代謝改善薬		ビタミン、硬組織代謝改善治療薬
	P 止血薬、抗凝固薬		
	Q 齶蝕予防薬		
	R 薬物の管理		
	S 臨床試験		二重盲検法、無作為化、倫理性、ICH-GCP、治験審査委員会〈IRB〉
10 その他の治療法	A 物理療法		温熱、寒冷、水、光、電気、徒手、マッサージ
	B 超音波療法		
	C 運動療法		筋機能療法
	D 凍結療法		
	E レーザー療法		
	F 免疫療法		
	G 酸素療法		

大項目	中項目	小項目	備考
	H 心身医学療法		自律訓練法、行動療法、認知行動療法、カウンセリング
	I IVR 〈Interventional Radiology〉		
	J 輸液療法		
	K 輸血療法		
	L 食事・栄養療法		

(X I) 歯科材料・歯科医療機器〔約 13%〕

大項目	中項目	小項目	備考
1 生体材料の科学	A 高分子材料		
	B セラミック材料		
	C 金属材料		
	D 複合材料		
	E 物理的性質		
	F 機械的性質		
	G 化学的性質		
	H 生物学的性質と生体安全性		
2 診療用器械	A 歯科用ユニット		
	B エアタービンハンドピース		
	C マイクロモータハンドピース		
	D レーザー装置		
3 切削・研削・研磨	A 切削・研削工具		
	B 研磨材		
4 印象材	A 酸化亜鉛ユージノール		
	B モデリングコンパウンド		
	C 印象用石膏		
	D 印象用ワックス		
	E アルジネート		
	F 寒天		
	G シリコーンゴム		
	H ポリエーテルゴム		
	I ポリサルファイドゴム		
	J 機能印象材		
	K 印象用トレー		
5 模型材	A 歯科用石膏		
	B レジン系模型材		
6 歯科用ワックス	A インレーワックス		
	B パラフィンワックス		
	C シートワックス、レディキャスト イングワックス、スティッキーワ ックス、ユーティリティーワッ クス		
7 予防填塞・成形修復・歯 内療法材料	A コンポジットレジン		
	B 歯質接着処理材、接着性モノマー		
	C グラスアイオノマーセメント		
	D 歯科用アマルガム		
	E 予防填塞材		

大項目	中項目	小項目	備考
	F 仮封材		
	G 裏層材		
	H 根管充填材		
8 歯冠修復材料	A 歯冠用レジン		
	B 陶材		
	C 金属焼付用陶材		
	D アルミナ		
	E ジルコニア		
	F 結晶化ガラス		
	G 金合金		
	H 金銀パラジウム合金		
	I 銀合金		
	J 陶材焼付用合金		
	K 支台築造材		
	L 暫間補綴・修復材		
9 義歯材料	A 仮床材料		
	B 加熱重合型アクリルレジン		
	C 常温重合型アクリルレジン		
	D ポリスルフォン、ポリカーボネート		
	E 人工歯		
	F 義歯裏装材		
	G 金合金		
	H 金銀パラジウム合金		
	I コバルトクロム合金		
	J チタン合金		
	K ステンレス鋼		
	L 歯科用磁性合金		
	M ろう材		
10 レジンの成形技術・機器	A 加熱重合		
	B 常温重合〈流し込み成形〉		
	C 光重合		
	D 加熱・加圧成形		
11 セラミックスの成形技術・機器	A 陶材の築盛・焼成		
	B 陶材と金属の接合		
	C ファインセラミックスの成形加工		
	D CAD/CAM		

大項目	中項目	小項目	備考
12 金属の成形技術・機器	A 鋳造工程		
	B 石膏系埋没材		
	C リン酸塩系埋没材		
	D 鋳造精度		
	E 鋳造欠陥		
	F ろう付け		
	G 鋳接、溶接		
	H 塑性加工と焼きなまし		
	I 軟化熱処理と硬化熱処理		
13 歯科接着技術・機器	A 歯質被着面処理		
	B セラミックス被着面処理		
	C 金属被着面処理		
14 合着・接着・仮着材	A レジンセメント、接着性モノマー		
	B グラスアイオノマーセメント		
	C ポリカルボキシレートセメント		
	D リン酸亜鉛セメント		
	E 酸化亜鉛ユージノールセメント		
	F EBA セメント		
15 歯科矯正材料	A 線材料、ワイヤー		
	B バンド、ブラケット		
	C 接着材		
	D エラスティック		
16 歯周治療・口腔外科・インプラント材料	A 人工歯根材料		
	B 骨補填材		
	C 骨接合・顎骨再建プレート		
	D 生体由来材料		
	E 縫合糸、包帯		